

急 告

初の六段位(蕎士)が誕生しました !!

最初の五段位認定会は12年前、平成19年9月に全麵協発祥の地である富山県南砺市利賀村にて開催されました。年月が経過するに伴い、五段位以上の段位創設を期待する声が寄せられました。そのため、「全国認定会専門チーム員会議」を開催して、具体的な検討を重ねました。専門チーム員会議で出された検討結果をもとに、平成29年度の理事会で協議を重ねた結果、「六段位・七段位・八段位認定制度運用要綱」を決定して平成30年4月1日から施行しました。

今年度に入って、理事会での協議を経て「実施要領」を制定し、「そば道六段位(蕎士)認定会」開催に向けての準備作業を行いました。このたび、受験対象者である「五段位認定から満5年以上経過している者」の中から、受験申込された方を対象とした「六段位認定選考会」が実施されたので、その概要についてご報告いたします。

1. 期 日 : 令和2年1月26日(日)
2. 会 場 : 全麵協研修センター
3. 審 査 : 1)技能審査・50分間
2)面接審査・12分間程度

4. 審査員 :【 技能審査 】

鵜飼 良平 (上野やぶそば 三代目店主)
山崎 憲 (工学博士)
大久保洋子(和食文化国際会議 理事)

【 面接審査 】

中谷 信一 (全麵協 理事長)
千秋 健 (ジャーナリスト)
井上 直人 (信州大学 名誉教授)

5. 日 程

9:00	9:30	9:40	10:10	11:00	11:30	12:20	13:00	13:50	14:30
9:30	9:40	10:00	11:00	11:30	12:20	13:00	13:50	14:30	15:00
技能	オリエンテーション	開会式	第1組	休憩	第2組	昼食	第3組	審査員会議	閉会式
面接			第3組		第1組		第2組		

6. 六段位認定者(受験番号順)

板倉敏和(東京都・TOKYO 蕎麦塾)

山本良明(北海道・じぞう庵そば塾)

横田節子(東京都・日本橋そばの会)

藤間英雄(埼玉県・さいたま蕎麦打ち倶楽部)

加藤 憲 (埼玉県・さいたま蕎麦打ち倶楽部)

石川勇二(埼玉県・さいたま蕎麦打ち倶楽部)

高橋 進 (北海道・札幌蕎麦道会)

守田秀生(北海道・幌加内そばスクール)

【 概要と感想 】

正面に「玄ソバ・抜き実・そば粉」が置かれ、紅白幕で囲まれた認定選考会場は神聖な雰囲気になっていました。受験対象者は第1回(平成19年)と第2回(平成22年)での五段位認定者で、全麵協活動の推進と発展に功績を挙げられている方々が受験しました。会場の都合で、見学は次期の六段位を受験できる資格を持っている方に限られましたが、段位認定会特有の緊張感が漂う中を、受験者の風格ある見事なそば打ちの技を真剣に見学していました。

面接審査は、最初に人生における「そば」との関わりと、今後の活動に向けての所信を発表した後に質問に答えるもので、面接内容と共に品格を重視した審査でした。(報告:広報渉外部 谷端)



技能審査



面接審査

そば道六段位(蕎士)認定選考会 記録写真(その1)



審査選考会場・正面



オリエンテーション



開会式



開会式



技能審査



技能審査



面接審査



面接審査

技能審査

そば道六段位(蕎士)認定選考会 記録写真(その2)



技能審査



技能審査



技能審査



技能審査



面接審査



面接審査



面接審査



技能審査

そば道六段位(蕎士)認定選考会 記録写真(その3)



技能審査



技能審査



技能審査



技能審査



審査員会議



審査講評



結果発表



認定書授与